



(1) AI・データサイエンスセンター

設立は2020年4月。AI、データサイエンス、セキュリティ、個人情報の取り扱いなど、現代の情報社会における社会人として必修の内容を学ぶ。近年、ビッグデータ活用やAI革命により社会全体に大きな変革が起こりつつあるが、そのような時代の転換点において社会のニーズに適切に対応できる人材を養成することが大学に課されたもっとも重要なミッションと捉え、全学教育を実現し、持続的な運営を行う。

(2) ELSIセンター

AIなどの科学的イノベーションと共存できる社会を構築するために必要な法制度や倫理観、社会的条件などを追求し、さまざまな社会課題を解決することを目的として設立。活動の柱は「学際的研究プロジェクト」「社会連携プロジェクト」「人材育成」の3本からなり、社会連携では産学官を含むコミュニティを形成し、AI技術に関わる社会的課題の実現に向けた議論を重ねている。



(3) +C (プラスシー)

+Cという名称は「Chuo (中央)」「Creative (クリエイティブ)」「Challenge (チャレンジ)」「Change (チェンジ)」の頭文字に由来する。そこには、サイトを訪れる人の事業やビジョンに対し、さまざまなCをプラスして新しい未来を創出したという想いが込められている。



中期計画には「グローバル化の推進」も盛り込まれていますが、グローバル社会に羽ばたくために必要な広い視野と教養、豊かなコミュニケーション能力を育むのが、多彩な留学プログラムです。協定校やそれ以外の大学に半期または1年留学する制度のほか、春季と夏季には1カ



小石川キャンパス

Chuo Vision 2025

世界に存在感のある大学へ

中央大学 中長期事業計画

Chuo Vision 2025

<p>MISSION グローバルな視野と実地応用の力を備え、人類の福祉に貢献する人材の育成</p>		
<p>VISION</p> <p>教育 Education 社会の期待に応え、人類の福祉に貢献する力を備えた人材を育成するための総合的な実学教育の拠点の形成</p> <p>キャンパス Campus 人類の未来を拓き、常に新たな社会的価値を創出する総合キャンパスの構築</p>	<p>研究 Research 地球規模での複雑な諸問題の解決に寄与する専門的かつ学際的な研究の拠点の形成</p> <p>経営 School Management 本学の継続的な事業活動を支える揺るぎない経営基盤の確立</p>	<p>社会貢献 Contribution to Humanity 特色ある教育研究に立脚した社会連携とヒューマンネットワーク拠点の形成</p>

建学の精神 「實地應用ノ素ヲ養フ」

AI・データサイエンスセンター 技術や知識を専門分野で活用

2020年に設立されたAI・データサイエンスセンター⁽¹⁾では、全学生に必要なリテラシー科目をはじめ、それらの技術・知識を各自の専門分野で活用する力を身につけるためのプログラムがスタートしたほか、産業界との共同研究を推進しながら連携事業を展開しています。今日ではさまざまな産業分野で事業プロセスのスマート化が進み、国際競争力の強化が求められています。当該分野の知識に通じたエキスパートやメンターの重要性が増す中、同センターは広範な学問領域を網羅する総合大学としての強みを生かし、社会人に向けたリカレント教育にも注力していきます。

科学技術の課題を解決 産学官連携も強力に推進

科学技術の急速な進展に伴い、倫理的・法的・社会的課題について検討する「ELSI(エルシー)」と

いう研究が日本でも広がりつつあります。国内屈指の法学部を擁する中央大学では、2021年4月に「ELSIセンター⁽²⁾」を設立。人工知能や次世代型インターネット「Web3」、メタバースなど、最新技術の実装に伴う法的・倫理的な課題について研究を行っており、文理融合研究・人材育成の新たな拠点としても期待が寄せられています。

また、中央大学では知の社会還元、研究の高度化のため、産業界や官公庁などとの協定、連携を促進する「研究推進支援本部」を設置。創出された知的財産の適切な管理・活用を推し進めています。こうした産学官連携の発信源として注目されるブラットフォームが「+C(プラスシー)」です。さまざまな分野の研究者を取り上げ、研究活動や見据えるビジョンを紹介したり、研究者と産業界の担当者が目標や未来を共有し、「いい関係」で連携している様子を対談やインタビューで発信しています。

多彩な留学プログラムと充実したキャリアサポート

中期計画には「グローバル化の推進」も盛り込まれていますが、グローバル社会に羽ばたくために必要な広い視野と教養、豊かなコミュニケーション能力を育むのが、多彩な留学プログラムです。協定校やそれ以外の大学に半期または1年留学する制度のほか、春季と夏季には1カ

月程度の短期プログラムも用意されています。また、各学部の特性を生かし、語学修得だけでなく、インターシップやフィールドワークを組み込んだプログラムも展開。目的に合わせた選択肢が豊富です。

国際センターでは、留学生との交流活動を支援し各種イベントを実施するほか、外国語講座も実施しています。これまでに受講者は延べ1万人を越えました。異文化理解の舞台は、国際寮や異文化交流ラウンジ、学生が自主的に結成した語学学習グループなどキャンパス内に数多く、海を越えなくてもグローバルな感覚を身につけることのできる環境です。

キャリアサポートは年間延べ200日以上、業界研究セミナーの参加企業数は国内最大級規模。あらゆる業界で中央大学の「行動する知性」が活躍する背景には、学生一人ひとりの夢を実現させるための充実したキャリア支援があるのです。「学生のみならず、がっつねに世界とともに学び相互に成長できるように、本学の豊富な人的・物的リソースを地域に開放しながら、社会との交流も積極的に図りたいと考えています。中央大学は、さらに開かれた大学を目指します」(河合久学長)



かわい ひろし
河合 久学長

1981年中央大学商学部卒業。83年同大学大学院商学研究科博士前期課程修了。専門は会計情報システム論。他大学専任教員、中央大学教授、商学部長、副学長などを経て2021年より現職。大学コンソーシアム八王子会長、日本私立大学連盟常務理事、大学基準協会理事なども務める。

1885年に創立した中央大学は、「實地應用ノ素ヲ養フ(ジッチオウヨウノソヲヤシナウ)」という建学の精神のもと、138年にわたり社会を支え、未来を拓く人材を数多く送り出してきました。その伝統と実績は、多様な学問研究と幅広い実践的な教育を通して「行動する知性を育む」というユニバーシティメッセージに受け継がれています。

一方、持続可能な社会基盤の構築にとって、今後の大学にはとくに科学技術(自然科学系分野)と人間行動・社会行動(人文社会科学系分野)の、文理融合型の研究教育が求められています。そのような社会からの負託に応えながら、中央大学はSociety 5.0の時代に活躍できる、知性と行動力を備えた人材の育成を目指します。

中央大学

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1 入学センター TEL 042-674-2144 <https://www.chuo-u.ac.jp/connect/>



茗荷谷キャンパス

都心に3つの新キャンパス 中長期計画を着々と遂行

創立以来、全学の叡智を結集して伝統を絶えず更新・革新し続けてきた中央大学。2015年度に策定した中長期事業計画「Chuo Vision 2025」は、2025年までに同大学が果たすミッションとして「グローバルな視野と実地応用の力を備え、人類の福祉に貢献する人材の育成」を掲げています。これまで数々の施策により着実に計画を進めてきましたが、2023年4月には、都心に3つの新キャンパスを開校しました。

3つ目は、都市におけるスポーツ施設として活用される小石川キャンパスです(次ページ左下写真)。体育の授業での利用のほか、部会やサークルの活動拠点として多目的室も併設され、学生の交流の場となることが期待されます。

新たな挑戦はキャンパスだけではありません。法学部・理工学部・国際情報学部の3学部は、共同で「学問最前線」という文理融合型の科目を開講しました。それぞれの教員が提供する学問分野のエッセンスをともに学ぶことで多様な視野を養うことが目的です。また、市ヶ谷田町キャンパスには大学院「国際情報研究科(修士課程)」を開設しました。ここでは情報学と法学を統合し、海外事例を元に、アルゴリズムやSNS、ITの進歩に伴う新しい法律や

まず、法学部と大学院法学研究科を茗荷谷キャンパスに移転しました(左上写真)。この連携を基礎として、中央大学の法曹養成を一層強く推進していきます。

次に、創立百周年記念事業の一環として開館した駿河台記念館が、駿河台キャンパスとして生まれ変わりました(右下写真)。法務研究科(ロースクール)と経営戦略研究科(ビジネススクール)の二つの専門職大学院を擁し、法曹界と実業界からの要請に応えるべく「経営のわかる法律家」「法律のわかる経営者」を育成します。

他大学との学生交流も開始 互いの実績を持ち寄り、高みへ

昨年11月、中央大学はお茶の水女子大学との学生交流に関する協定を締結しました。手始めとして中央大学理工学部が開講する産業キャリア教育科目群を、お茶の水女子大学の学生に開放します。

同科目群は企業から講師を招き、企業が目指す未来社会や多様性を生かすための男女共同参画実現、SDGsへの貢献など、さまざまな取り組みを講義してもらうものです。経営方針を理解し、求められる人材像を考えることで学生のキャリア形成に資する機会とします。

さらに、両大学が実績を持つ文理の枠を越えたAIやデータサイエンスを学ぶ関連科目の相互履修なども行われる予定です。

創立以来伝統の「実学教育」のもと 次世代を拓く「行動する知性」を育成 “開かれた中央大学” を目指す

まず、法学部と大学院法学研究科を茗荷谷キャンパスに移転しました(左上写真)。この連携を基礎として、中央大学の法曹養成を一層強く推進していきます。



駿河台キャンパス